



平成 30 年 5 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社 ユビキタス
代 表 者 名 代表取締役社長 佐野 勝大
(コード 3858、東証 JASDAQ)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 常務取締役 長谷川 聡
電 話 03-5908-3451

平成 30 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 11 月 9 日付「平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」において公表した平成 30 年 3 月期(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)の通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期 通期 連結業績予想数値の修正(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

| | 売 上 高 (百万円) | 営業利益 (百万円) | 経 常 利 益 (百万円) | 親会社株主に 帰属する当期 純利益 (百万円) | 1 株当たり 当期純利益 |
|-----------|----------------|---------------|------------------|----------------------------------|-----------------|
| 前回予想 (A) | 2,390 | △28 | 12 | △81 | △ 7 円 77 銭 |
| 今回修正 (B) | 2,349 | 4 | 42 | △11 | △1 円 07 銭 |
| 増減額 (B-A) | △40 | 32 | 30 | 69 | |
| 増 減 率 | △1.7% | - | 250.0% | - | |

2. 業績予想修正の理由

(1) 売上高の減少理由

ソフトウェアディストリビューション事業は期末の案件獲得状況が好調であった一方、組込みソフトウェア事業及びソフトウェアサービス事業において、一部顧客の量産立ち上がりの遅延や、案件獲得が計画値を下回り推移したことが影響し、予想から 40 百万円下回る見込みです。

(2) 営業利益、経常利益の改善理由

コネクティビティ事業及び組込みソフトウェア事業におけるソフトウェア仮勘定への計上額が増加する見通しであること、グループ全体で販管費を中心に諸経費の圧縮に取り組んだこと等から営業利益は予想から 32 百万円改善し営業黒字を実現できる見込みです。また、経常利益は予想から 30 百万円増加する見込みです。

(3) 親会社株主に帰属する当期純利益の改善理由

上記 (2) の理由に加え、当社の保有する投資有価証券の一部を売却したことによる投資有価証券売却益 34 百万円が発生しました結果、予想から 69 百万円改善する見込みです。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。